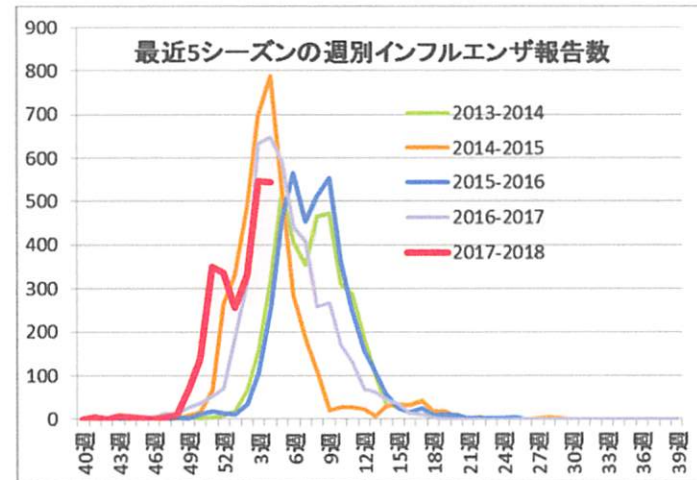
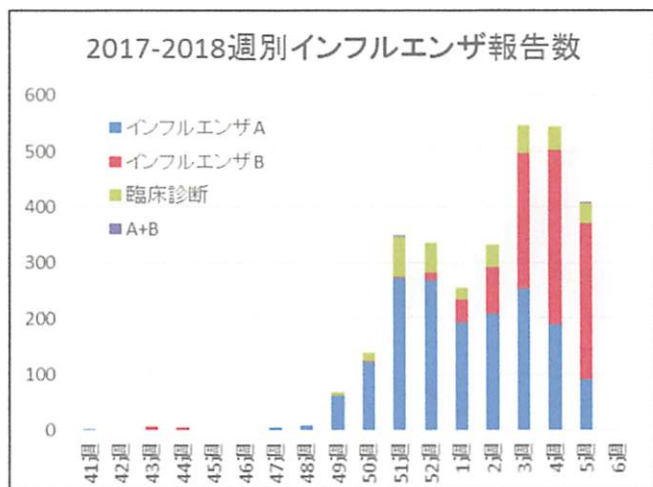


# 週間感染症情報

2018年4週 2018年1月22日より2018年1月28日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	1
ムンプス(おたふくかぜ)	
百日咳	3
溶連菌感染症	12
手足口病	
ヘルパンギーナ	
伝染性紅斑	1
感染性胃腸炎	18
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	
突発性発疹	4
伝染性膿痂疹(とびひ)	5
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	4
RSウイルス感染症	1
マイコプラズマ感染症	
インフルエンザ(臨床診断含む)	544
インフルエンザA	188
インフルエンザB	315
ヒトメタニューモウイルス感染症	3

1月25日に岡山県にインフルエンザ警報が発令されました。総社市内ではインフルエンザBの報告が増えています。左下のグラフは、2月1日(木)までの報告数のまとめです。右下のグラフは最近5シーズンの報告数です。今シーズンは、いつもより早く11月末よりインフルエンザAの流行が始まりました。3学期が始まり、常盤学区より始まったインフルエンザBの流行は、市内全体に拡大しています。学級閉鎖も出ていますが、今シーズンの流行は3週～4週でピークを迎えたようです。インフルエンザA(AH1pdm)の流行は懸念されたほどではなく、このまま終息に向かっていくとありがたいです。今シーズンはA型もB型も軽症の印象が強く、当院では輸液やラピアクタが必要となる症例は今のところ少ないです。特にB型は、軽症の例が多く、抗インフルエンザ剤は効果を感じられない症例が多いので処方せずに、対症療法で経過をみる事も多いです。やはり、一番大切なことは、休養と栄養、それと優しい看病です。ヒトメタニューモウイルス感染症は市内保育園で流行しています。RSウイルスと似たウイルスで、多くの場合はかぜですみませんが、細気管支炎や肺炎を起こし入院する症例もあります。これから春にかけて流行する疾患です。迅速検査キットがありますが、6歳以下で画像診断で肺炎が疑われる場合にのみ保険適応です。多くは、医療機関の持ち出しか、自費になります。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)